

グループ展 “ミスティックエコー、4人のメキシコ人アーティストが見るの日本の姿”

2018年9月5日、東京

9月3日、エスパシオ・メヒカーノ（於：在日メキシコ大使館）にてグループ展“ミスティックエコー、4人のメキシコ人アーティストが見るの日本の姿”のオープニングセレモニーが行われました。本展は9月16日まで公開され、マリカルメン・ペレス・ロドリゲス氏による“Diálogos Secretos”（秘められた対話）と題したリソグラフィーや、タパルパ在住のビクトル・チャルレス氏による愛の狂気と死をテーマにした絵画のほか、日本在住のメキシコ人写真家、ロドリゴ・レジェス・マリン氏とマルコ・ビニシオ・ウエルタ氏による“La Catrina y sus calaveritas de azúcar”（カトリーナとガイコツの砂糖菓子）、“El monstruo dentro de mí”（私の中の妖怪）と題したそれぞれの作品が展示されています。



またトラスカラ州出身の巨匠であるアベル・ベニテス氏とフェルナンド・ラリオス氏によるアーティスト・グループ **Track-Thor** が手がけた“**Extinción**”（絶滅）、“**Inmensidad**”（無限）と題したインスタレーション作品 2 点も展示されています。“**Inmensidad**”（無限）は植物とその世界とのつながりを作り出すことを目指すプロジェクトからインスピレーションを受けた作品です。


